

<歴史資料調査隊養成講座（資料撮影編）>

開催日時：令和6年6月29日（土）13:00～17:00

30日（日）9:30～17:00

開催場所：高知県立高知城歴史博物館 1階 実習室

カリキュラム：1日目①座学（歴史資料の取扱いについて、資料整理について）

②実習（薄葉紙の扱い方、資料の扱い方）

2日目①座学（資料撮影の概要）

②実習（資料撮影）

○古文書等資料の種類や、取り扱うときの注意事項等について講義を受けた後、実際の作業をしました。



⇒古文書を取り扱うときに欠かせない「薄葉紙（うすようし）」

机に直接古文書が触れないよう机の上に敷くだけでなく、小さく裂いて、資料に番号をつけるためのフセンとして使ったり、資料をまとめるための紙ひもとして使ったりします。



⇒古文書の取扱いの実習

皆さん初めてで最初は緊張していますが、同じ班の人と相談したり講師の方に質問したりしながら、徐々に慣れていかれたようです。



⇒撮影方法の説明

まずは講師の方にデモンストレーションしていただき、注意事項を習います。



⇒実際の撮影作業の様子

資料を扱う人・パソコンを扱う人・記録をする人の役割を交代して実習しました。県史編さん室で日々撮影作業の補助をしている学生アルバイトさんにも加わってもらい、助け合いながら作業を進めます。色々な種類の古文書を時間いっぱいまで撮影しました。

○県史編さん室では、ほぼ毎日、歴史資料の撮影やデータ入力など、県史の元となる基礎データを収集・蓄積しています。この講座を修了された方もアルバイトとして参加していただき、多くの方のご協力をいただきながら、県史は作られています。